

患者様各位
気管切開周術期管理における Respiratory Support Team 介入の臨床有効性の検証
に関するお知らせ

研究の背景

現代医療ではチームアプローチの重要性が高まり、各領域で専門チームが活動しています。当院でも Respiratory Support Team (RST) が、呼吸苦を訴える患者様のケア、重症化予防、重症例の治療・管理に取り組んできました。専門チームの介入が臨床転帰を改善することは、既に多くの研究や学会で報告されていますが、気管切開術を受けた患者様に限定し、周術期（手術前・中・後）に焦点を当てた臨床研究は、私たちの知る限り存在していません。

気管切開の周術期管理では、適応判断、術式選択、創部のケアと管理、状態変化に応じた最適な気管カニューレ選択、気切孔閉鎖に向けた治療戦略の立案と実施など、高度な専門性が求められます。私たちは、RST の介入により合併症の低減などの臨床転帰および生活の質（Quality of Life; QOL）が向上すると仮説を立て、本研究でその検証を目指します。

本研究は過去の診療データを用いた後ろ向き解析であり、患者様およびご家族様に直接の介入や負担は一切ありません。研究へのご理解・ご協力を賜れますと幸いです。

研究の目的

Respiratory Support Team 介入は当該患者様の臨床転帰（例えば合併症率の低下など）及び Quality of life; QOL（生活の質）を改善させるかどうかの検証

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者：研究対象施設において気管切開術を受けた成人患者様（18歳以上）

期間：倫理委員会承認後～ 2026年10月31日

研究に際し行うこと・研究に伴う患者様の負担・不利益

過去データを遡及的に取得し、分析致します。患者様の身体的・金銭的負担は一切ありません。

患者様の人権擁護・研究への拒否

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。

友愛医療センターの院外ホームページ上に、研究概要の説明及び研究への非同意を示す専用ページを設けております。該当される方は当該ページにアクセスして下さい。

御不明な点は、下記までお尋ねください。

皆様の御協力に感謝致します。

連絡先： 社会医療法人友愛会 友愛医療センター 集中治療科 豊崎光信
電話：(代表)098-850-3811